

# 水道事業会計

# 輪 島 市 水 道 事 業 会 計

## 1. 業務状況について

令和2年度の業務実績では、総配水量は3,055,452 m<sup>3</sup>で、前年度(3,001,785 m<sup>3</sup>)に比べ53,667 m<sup>3</sup>(1.79%)の増であり、年間有収水量は2,698,572 m<sup>3</sup>で、前年度(2,708,257 m<sup>3</sup>)に比べ9,685 m<sup>3</sup>(0.36%)の減、有収率(配水量に対する有収水量の比率)は88.32%で、前年度(90.22%)に比べ1.90ポイント減少している。

## 2. 予算決算について(税込み)

### (1) 収益的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
水道事業収益	932,483,000	944,249,534	101.26	水道事業費用	1,122,414,000	979,138,169	87.24
営業収益	640,788,000	645,792,096	100.78	営業費用	964,195,000	860,046,324	89.20
営業外収益	291,625,000	297,878,578	102.14	営業外費用	119,219,000	93,496,595	78.42
特別利益	70,000	578,860	826.94	特別損失	38,000,000	25,595,250	67.36
				予備費	1,000,000	0	0.00

収益的収入は、予算額9億3,248万3千円に対して、決算額は9億4,425万円(収入率101.26%)となっている。

収益的支出は、予算額11億2,241万4千円に対して、決算額は9億7,913万8千円(執行率87.24%)となっている。

### (2) 資本的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
資本的収入	542,454,000	548,448,681	101.11	資本的支出	974,541,000	917,982,831	94.20
企業債	299,000,000	287,300,000	96.09	建設改良費	556,863,000	500,354,647	89.85
負担金	11,739,000	9,444,600	80.45	企業債償還金	417,678,000	417,628,184	99.99
国庫支出金	87,949,000	84,949,200	96.59				
補償金	13,000,000	39,368,906	302.84				
出資金	130,766,000	127,385,975	97.42				

(資本的収入額548,448,681円－資本的支出額917,982,831円＝△369,534,150円)

不足額3億6,953万4,150円は、過年度分損益勘定留保資金3億3,638万3,008円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,315万1,142円で補てんしている。

### 3. 損益計算について

総事業収益は8億8,510万4千円で、前年度に比べ2,235万8千円(2.46%)の減、総事業費用は9億5,369万6千円で、前年度に比べ2,955万1千円(3.20%)の増、収支差引6,859万2千円の純損失となっている。

#### (1) 収益の部

(単位：円・%)

科 目	令和2年度		令和元年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>営業収益</b>	<b>587,315,949</b>	<b>61.58</b>	<b>588,375,759</b>	<b>63.67</b>	<b>△ 1,059,810</b>	<b>△ 0.18</b>
給水収益	488,621,159	51.23	489,895,172	53.01	△ 1,274,013	△ 0.26
その他営業収益	9,857,304	1.03	9,006,227	0.97	851,077	9.45
簡易水道給水収益	88,204,340	9.25	89,236,321	9.66	△ 1,031,981	△ 1.16
簡易水道その他営業収益	633,146	0.07	238,039	0.03	395,107	165.98
<b>営業外収益</b>	<b>297,249,762</b>	<b>31.17</b>	<b>318,850,539</b>	<b>34.50</b>	<b>△ 21,600,777</b>	<b>△ 6.77</b>
受取利息及び配当金	850,998	0.09	587,897	0.06	263,101	44.75
他会計負担金及び補助金	9,333,753	0.98	24,737,368	2.68	△ 15,403,615	△ 62.27
補助金	5,655,800	0.59	-	-	5,655,800	皆増
長期前受金戻入	141,494,596	14.84	141,096,941	15.27	397,655	0.28
加入金	6,269,500	0.66	4,956,500	0.54	1,313,000	26.49
諸収入	32,632	0.00	32,632	0.00	0	0.00
雑収益	68,220	0.01	110,408	0.01	△ 42,188	△ 38.21
貸倒引当金戻入益	0	0.00	0	0.00	0	-
簡易水道他会計負担金及び補助金	65,830,801	6.90	71,715,078	7.76	△ 5,884,277	△ 8.21
簡易水道長期前受金戻入	67,520,962	7.08	74,398,781	8.05	△ 6,877,819	△ 9.24
簡易水道加入金	0	0.00	59,000	0.01	△ 59,000	皆減
簡易水道雑収益	192,500	0.02	1,155,934	0.13	△ 963,434	△ 83.35
<b>特別利益</b>	<b>538,648</b>	<b>0.06</b>	<b>236,310</b>	<b>0.03</b>	<b>302,338</b>	<b>127.94</b>
過年度損益修正益	538,648	0.06	236,310	0.03	302,338	127.94
<b>収 益 計</b>	<b>885,104,359</b>	<b>92.81</b>	<b>907,462,608</b>	<b>98.19</b>	<b>△ 22,358,249</b>	<b>△ 2.46</b>
<b>当年度純損失</b>	<b>68,591,587</b>	<b>7.19</b>	<b>16,681,930</b>	<b>1.81</b>	<b>51,909,657</b>	<b>311.17</b>
<b>合 計</b>	<b>953,695,946</b>	<b>100.00</b>	<b>924,144,538</b>	<b>100.00</b>	<b>29,551,408</b>	<b>3.20</b>

営業収益で5億8,731万6千円、営業外収益で2億9,725万円、特別利益で53万9千円となっている。

## (2) 費用の部

(単位：円・%)

科 目	令和2年度		令和元年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>営業費用</b>	<b>842,940,289</b>	<b>88.39</b>	<b>827,925,186</b>	<b>89.59</b>	<b>15,015,103</b>	<b>1.81</b>
原水及び浄水費	55,927,754	5.86	52,292,855	5.66	3,634,899	6.95
配水及び給水費	60,544,832	6.35	41,505,169	4.49	19,039,663	45.87
総係費	94,844,751	9.94	111,566,392	12.07	△ 16,721,641	△ 14.99
簡易水道原水及び浄水費	26,389,710	2.77	27,640,348	2.99	△ 1,250,638	△ 4.52
簡易水道配水及び給水費	8,492,453	0.89	7,920,652	0.86	571,801	7.22
簡易水道総係費	13,765,769	1.44	12,600,958	1.36	1,164,811	9.24
減価償却費	383,788,135	40.24	383,205,166	41.47	582,969	0.15
簡易水道減価償却費	184,476,751	19.34	176,259,615	19.07	8,217,136	4.66
資産減耗費	10,301,626	1.08	4,956,538	0.54	5,345,088	107.84
簡易水道資産減耗費	4,399,008	0.46	9,912,380	1.07	△ 5,513,372	△ 55.62
その他営業費用	9,500	0.00	65,113	0.01	△ 55,613	△ 85.41
<b>営業外費用</b>	<b>87,487,028</b>	<b>9.17</b>	<b>95,226,352</b>	<b>10.30</b>	<b>△ 7,739,324</b>	<b>△ 8.13</b>
支払利息及び取扱諸費	59,234,431	6.21	65,569,888	7.10	△ 6,335,457	△ 9.66
簡易水道支払利息及び取扱諸費	27,458,034	2.88	29,446,520	3.19	△ 1,988,486	△ 6.75
雑支出	731,769	0.08	115,271	0.01	616,498	534.82
簡易水道雑支出	62,794	0.01	94,673	0.01	△ 31,879	△ 33.67
<b>特別損失</b>	<b>23,268,629</b>	<b>2.44</b>	<b>993,000</b>	<b>0.11</b>	<b>22,275,629</b>	<b>2,243.27</b>
過年度損益修正損	18,629	0.00	0	0.00	18,629	皆増
簡易水道過年度損益修正損	0	0.00	0	0.00	0	-
その他特別損失	23,250,000	2.44	993,000	0.11	22,257,000	2,241.39
<b>費用計</b>	<b>953,695,946</b>	<b>100.00</b>	<b>924,144,538</b>	<b>100.00</b>	<b>29,551,408</b>	<b>3.20</b>
当年度純利益	0	0.00	0	0.00	0	-
<b>合 計</b>	<b>953,695,946</b>	<b>100.00</b>	<b>924,144,538</b>	<b>100.00</b>	<b>29,551,408</b>	<b>3.20</b>

営業費用で8億4,294万円、営業外費用で8,748万7千円、特別損失で2,326万9千円となっている。

#### 4. 貸借対照表について

##### (1) 資産の部

(単位：円・%)

科 目	令和2年度		令和元年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定資産</b>	<b>11,122,329,083</b>	<b>80.76</b>	<b>11,250,310,445</b>	<b>81.27</b>	<b>△ 127,981,362</b>	<b>△ 1.14</b>
有形固定資産	10,568,051,879	76.73	10,691,642,124	77.24	△ 123,590,245	△ 1.16
無形固定資産	554,277,204	4.02	558,668,321	4.04	△ 4,391,117	△ 0.79
<b>流動資産</b>	<b>2,649,843,162</b>	<b>19.24</b>	<b>2,592,327,474</b>	<b>18.73</b>	<b>57,515,688</b>	<b>2.22</b>
現金預金	2,529,234,387	18.36	2,520,058,502	18.21	9,175,885	0.36
未収金	57,966,499	0.42	32,495,208	0.23	25,471,291	78.38
貯蔵品	21,042,276	0.15	19,773,764	0.14	1,268,512	6.42
短期貸付金	35,000,000	0.25	20,000,000	0.14	15,000,000	75.00
前払金	6,600,000	0.05	0	0.00	6,600,000	皆増
その他流動資産	0	0.00	0	0.00	0	-
<b>合 計</b>	<b>13,772,172,245</b>	<b>100.00</b>	<b>13,842,637,919</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 70,465,674</b>	<b>△ 0.51</b>

##### (2) 負債・資本の部

(単位：円・%)

科 目	令和2年度		令和元年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定負債</b>	<b>4,543,777,733</b>	<b>32.99</b>	<b>4,739,205,352</b>	<b>34.24</b>	<b>△ 195,427,619</b>	<b>△ 4.12</b>
企業債	4,482,972,479	32.55	4,683,503,417	33.83	△ 200,530,938	△ 4.28
引当金	60,805,254	0.44	55,701,935	0.40	5,103,319	9.16
<b>流動負債</b>	<b>734,046,070</b>	<b>5.33</b>	<b>580,487,060</b>	<b>4.19</b>	<b>153,559,010</b>	<b>26.45</b>
企業債	436,830,938	3.17	366,628,184	2.65	70,202,754	19.15
未払金	281,550,676	2.04	203,813,440	1.47	77,737,236	38.14
引当金	6,634,736	0.05	6,481,776	0.05	152,960	2.36
その他流動負債	9,029,720	0.07	3,563,660	0.03	5,466,060	153.38
<b>繰延収益</b>	<b>3,753,543,145</b>	<b>27.25</b>	<b>3,840,934,598</b>	<b>27.75</b>	<b>△ 87,391,453</b>	<b>△ 2.28</b>
長期前受金	3,753,543,145	27.25	3,840,934,598	27.75	△ 87,391,453	△ 2.28
<b>資本金</b>	<b>3,920,856,577</b>	<b>28.47</b>	<b>3,793,470,602</b>	<b>27.40</b>	<b>127,385,975</b>	<b>3.36</b>
<b>剰余金</b>	<b>819,948,720</b>	<b>5.95</b>	<b>888,540,307</b>	<b>6.42</b>	<b>△ 68,591,587</b>	<b>△ 7.72</b>
資本剰余金	44,338,844	0.32	44,338,844	0.32	0	0.00
利益剰余金	775,609,876	5.63	844,201,463	6.10	△ 68,591,587	△ 8.13
<b>合 計</b>	<b>13,772,172,245</b>	<b>100.00</b>	<b>13,842,637,919</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 70,465,674</b>	<b>△ 0.51</b>

総資産額は137億7,217万2千円で、固定資産111億2,232万9千円、流動資産26億4,984万3千円となっている。

有形固定資産105億6,805万2千円の内訳は、土地2億9,404万2千円、建物4億7,169万7千円、構築物88億1,177万4千円、機械及び装置9億1,899万7千円、車両及び運搬具358万8千円、工具器具及び備品3,353万4千円、建設仮勘定3,442万円となっている。

負債・資本総額は137億7,217万2千円で、固定負債で45億4,377万8千円、流動負債で7億3,404万6千円、繰延収益で37億5,354万3千円、資本金で39億2,085万7千円、剰余金で8億1,994万9千円となっている。

## 5. 経営分析

自己資本構成比率等について、最近3か年の推移を見ると、次のとおりである。

(単位：%)

項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度	説明
自己資本構成比率	47.32	46.81	45.68	総資本に対する自己資本の占める割合を示すもので、比率が大きいほど安全性は大である。
流動比率	360.99	446.58	432.31	流動負債に対する流動資産の割合、すなわち企業の支払能力をみるもので、比率は200%以上大きいほど良好。
総収益対総費用比率	92.81	86.22	103.85	総費用に対する総収益の割合、すなわち企業の収支のバランスをみるもので、比率は100%以上大きいほど良好。
人件費対総費用比率	8.32	8.72	9.62	総費用に対する人件費の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。
純利益対総収益比率	0.00	0.00	3.71	総収益のうち、最終的に企業に残されて純利益となっているものの割合を示すもので、比率は大きいほど良好。
企業債償還額対総収益比率	47.18	44.78	40.37	総収益に対する企業債償還額の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。

## むすび

以上が輪島市水道事業会計における令和2年度決算の概要である。

令和2年度における年間総配水量は3,055,452 m<sup>3</sup>で、前年度(3,001,785 m<sup>3</sup>)に比べ53,667 m<sup>3</sup>(1.79%)の増加となった。そのうち総有効有収水量は2,698,572 m<sup>3</sup>で、前年度(2,708,257 m<sup>3</sup>)に比べ9,685 m<sup>3</sup>(0.36%)の減少となった。また、有収率については88.32%となっており、前年度(90.22%)に比べ1.90ポイント低下している。

水道総事業収益は8億8,510万4千円で、前年度(9億746万3千円)に比べ2,235万8千円(2.46%)の減少となった。一方、水道総事業費用は9億5,369万6千円で、前年度(9億2,414万5千円)に比べ2,955万1千円(3.20%)の増加となり、収支差引6,859万2千円の純損失を計上している。

営業収益は5億8,731万6千円で、前年度(5億8,837万6千円)に比べ1,060万円(0.18%)の減少となった。主に給水収益で上水道、簡易水道合わせて5億7,682万5千円となり、前年度(5億7,913万1千円)に比べ230万6千円(0.40%)の減少となった。また営業外収益は2億9,725万円、前年度(3億1,885万1千円)に比べ2,160万1千円(6.77%)の減少となった。これは、補助金で565万6千円(皆増)の増収となったが、他会計負担金及び補助金が前年度に比べ2,128万8千円(22.07%)の減収となったことなどによる。

営業費用は、総係費が大幅に減少したが、配水及び給水費や減価償却費の増加などにより8億4,294万円となり、前年度(8億2,792万5千円)に比べ1,501万5千円(1.81%)の増加となった。また営業外費用では、企業債利息が純減したことにより、前年度に比べ773万9千円(8.13%)の減少となった。

資本的収支は、総収入額で5億4,844万9千円、総支出額で9億1,798万3千円となっている。このうち、建設改良費の主な内容は、水道管路緊急改善事業による堀町、鳳至町、杉平町での水道管布設替と耐震化や稲舟送水ポンプ場施設更新、生活基盤近代化事業による町野浄水場機械設備更新、遠隔監視システム整備事業などである。資本的収支の差引不足額の3億6,953万4千円については、過年度分損益勘定留保資金3億3,638万3千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,315万1千円でこれを補てんしている。

企業債については、未償還残高は 49 億 1,980 万 3 千円(財政融資資金 28 億 9,180 万 8 千円、地方公共団体金融機構 20 億 249 万 5 千円、民間等資金 2,550 万円)で、前年度(50 億 5,013 万 2 千円)に比べ 1 億 3,032 万 8 千円の減少となった。今年度においては、2 億 8,730 万円の新規借り入れを行っている。総収益に対する企業債償還額の割合が 47.18%(昨年度 44.78%)と比率の上昇が続いており、経営環境の厳しさが増している状況である。

また、企業の支払能力をみる流動比率は 360.99%となっており指数上は決して悪いとは言えないが、前年度(446.58%)より 88.59 ポイント低下している。

給水人口は少子高齢化の進行により年々減少傾向にあり、さらに水道使用施設・設備が「節水型」に変わりつつある中で消費量の大きな伸びは期待できない状況である。

また、本市の特徴として主な水道水源が河原田川、八ヶ川、町野川と 3 つの河川・地域に分かれていること、配水地域が広範囲であるとともに地形が複雑なことから施設管理は複雑となり時間と労力はもとより、コストを要することになる。このことは、平常時はもとより緊急事態発生時に必要となる迅速かつ適切な対処や、水圧の適正化、水質の確保に万全を期すことなどに対する困難さを意味している。また、地震や近年発生している局地的集中豪雨など、いつ発生するか予測できない災害に備えることも大変重要である。

経営上は、企業債償還金や未普及地域の解消、老朽施設・設備の更新及び水道管布設替等で今後も多額の費用が予想されることであり事業化にあたっては優先順位を付けて計画的に実施すべきと思われる。

言うまでもなく「水」は人が生活するうえで欠くことのできない最も重要な生活基盤の一つである。安心して安全な水の安定供給を維持することが公営企業として求められているところであり、平成 29 年に作成された輪島市水道事業経営戦略(2017~2026 年度)に基づき中長期的な視点に立ち安定した企業経営を維持していただきたい。